
令和5年度 中間報告

千葉市 海まつり協議会

1. 事業の目的

とある旅番組。千葉駅前でのインタビューシーン
『このあたりで、おすすめの場所って、ありますか？』 ⇒ 誰も答えられず

千葉という町の『個性』とは？

「歴史も浅そうだし、文化の薫りも感じないし、ありがちな新興ベッドタウンじゃないの???
自分も東京に通いやすいから住んでるだけだし。。。」

2026年 = 千葉開府900年

- ・ 千葉町は鎌倉に次ぐ**関東第2の町**だった（東京にも横浜にも町ができていなかった）
 - ☞ 千葉氏が源頼朝の**鎌倉幕府設立に貢献**して**名族として繁栄**したから
 - ☞ 落ち延びてきた頼朝への味方を即決して、千葉に攻めてきた敵を打ち破って、形成逆転させたから
- ◆ 空襲によって、有形の文化財は何一つ残っていない。
唯一つ残っているの無形の文化財 ⇒ 「御浜下り」

結城浜合戦を記念する行事

今まで寒川地域で守ってきたけど、もう限界。これからは市民全員で守っていききたい。
「御浜下り」を含む「うみ千葉」の文化で、市民に、もっと地元への愛着を深めてもらいたい。

2. 事業の概要

シビックプライドの確立に向けて



位置づけ	始動	啓発	普及	醸成	シビックプライド 確立
戦略	海まつり協設立	多主体連携	オール千葉市	オール千葉市民	行事開催
実施内容	<p>1. 新住民へのアクセス 千葉中央駅西口マンション前 を祭事会場化</p> <p>2. 運営側の変革 男性主体の祭りから、女性や 子供主体とした祭礼へ</p> <p>3. 担い手の恒常的育成 親子向けの次世代教育活動</p>	<p>1. 「海ちば」地域の活性化 に携わる各主体のイベントを 8月第三土日に集結</p> <p>「さんばりまつり」 「みっけ夏祭り」 「ゆうきの盆踊り」 「御浜下り」</p> <p>・シナジーによる市民への啓 発促進と賑わい創出</p> <p>・各主体の運営者が千葉開府 ストーリーを意識すること で今後の地域活動にベクト ルの統一感を</p> <p>2. 担い手の恒常的育成 小学校向け紙芝居製作と上演</p>	<p>1. 「海ちば」地域の活動主 体をコアとしつつ市内の企業 や関係主体へと面的拡大を模 索 ※オール千葉市結集のシンボ ルとする「結城舟」の復元に 向けてクラウドファンディン グ</p> <p>2. 中高一貫校生徒などの コア人材育成プログラム</p> <p>3. 翌年の「醸成」に向けた 普及施策の検討</p>	<p>千葉市民全員が「来年は開府 900年」だと意識するよう に</p>	

3. 活動状況【多主体連携・賑わい創出】

8月第3土日に連携開催



■さんばしまつり

②千葉ポートパークエリア

新興イベントに伝統を加味、
伝統行事に賑わいを付加

■御浜下り

①千葉中央駅西口エリア

各主体のイベントを組み合わせると一大イベント
旧住民／新住民、伝統行事／若者イベントの融合

盆踊り
みっけ夏祭り

御浜宵祭
さし石さんが大会

送迎バス
(JFEスチール提供)

本協議会の「御浜下り」告知チラシ



千葉開府 Road to 900 since 1700

843年前
千葉を守ろうと立ち上がった私たちに神が舞い降りた

千葉市地域文化財 寒川神社

御浜下り

8月19日(土)

8月20日(日)

おはまより 御浜宵祭

8月第3土日は「海ちばの日」
海のある町ちばがお祭りでにぎわう日

神輿渡御 (大人) 神明町、新宿、新田町周辺
*参加自由 規定の半纏と足袋を着用ください
神輿手曳 (子供) 新宿公園プロムナード周辺
参加自由 *浴衣・甚平等でOK

おはまより 場所：新宿公園プロムナード
同時開催：盆踊り・ミッケ夏祭り
(新宿小校庭)

おはまより 場所：千葉ポートパーク
神輿渡御 (大人)
*規定の半纏と足袋を着用

同時開催：
さし石さんが大会 (新宿公園プロムナード)
さんばしまつり (さんばしひろば)

千葉市 海まつり協議会
令和5年度市民協働推進事業「みんなで作る自由なまちづくり」

QRコード

「ミッケ夏祭り」と「盆踊りの」告知チラシ



おはまより
寒川神社 御浜宵祭が
新宿公園プロムナードで同時開催

盆踊りのおどり

踊りに緑日にキッチンカー

ミッケ夏祭りも校庭で開催だよ!

8月19日(土) 17:00 ~ 20:00

会場：新宿小学校 校庭

協賛 神輿町・新宿1丁目・2丁目自治会 協力 海まち協議会・ミッケ 後援 新宿小地区スポーツ振興会

お問い合わせ ゆうきの盆踊り実行委員会

8月第3土日は「海ちばの日」
海のある町ちばがお祭りでにぎわう日

共通帯



①千葉中央駅西口エリア

御浜宵宮



ミツケ夏祭り・盆踊り



さし石さんが大会



配布うちわ



説明文

千葉市地域文化財 寒川神社 御浜下り
千葉に町ができて間もない頃のこと。攻め込んできた敵から町を守ろうと船乗り達が立ち上がりました。空から舞い降りた神の助けによって奇跡の勝利。以来、千葉の町は発展し続けてきました。このお祭りはその出来事を語り継ぐために行われてきたものです。2026年、この町は生誕900年を迎えます。

②千葉ポートパークエリア

さんばしまつり



餅撒き



巫女舞



御浜下り



担ぎ手不足のため、さんばしまつり会場への入退場は台車に載せて曳く予定にしていたが、神輿の重量で台車が破損し、急遽、担いで入ることに。

長い道のり、水分の用意もしておらず、途中で何度も立ち止まり、行列は進まず。

そんなとき、会場の人垣から「寒川、がんばれー！」の大声援が。

ここに来なかったら、寒川を知ってもらうことも、頑張れと声をかけてもらうことも無かったことでしょう。

寒川が人知れず守ってきた、千葉誕生の記念祭。これから市民総出で守っていくための大きな一歩となりました。

4. 今後の予定【次世代育成】

1. 御浜下りの起源となった「結城浜合戦」について、地元に残る伝承を伝える紙芝居の制作と上演
(本事業予算)
 - ・完成予定：11月末日
 - ・12月6日の寒川小学校創立150周年記念「地域開放デー」で上演予定
 - ・その後も、小学校の教室などでの継続的な出前授業を検討
2. 千葉県立美術館開館50周年記念企画 「五十嵐靖晃」×「御浜下り」
(美術館側予算。当協議会は手弁当参加)
 - ・「美術はこの時代、多様な人々をつなげるものとしてある」との考えをもつ作家・五十嵐靖晃氏とともに「その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動」を千葉の人々と一緒に展開。特に、地元の子ども達に「海のアート」という視座から御浜下りに親しんでもらうため、周辺小学校との連携も模索中。来年度が企画展。今年度後半は準備。
 - ・11月12日 キックオフイベント (県美)
3. 寒川小学校創立150周年記念 郷土史副読本の執筆
(実行委員会側予算。当協議会は手弁当参加)
 - ・地域の歴史に特化した子供向けの郷土史の教科書が存在していない (cf. 「佐倉学」)